

わんぱく学園ニュース

平成22年12月／平成23年1月号 No. 150

庭木としてよく植えられている高さ1～2メートルの常緑樹。葉は大きく幹の上部に集まり光沢がある。

5～6月頃、白く小さな花を多数つけ果実は冬に赤く熟す……そう……ナンテンの実がなる頃 _____。

霜におおわれても更に朱色の輝きをより増す凛とした姿に、新しい年の祈りを重ねる想いです。

「南天の 朱色に萌ゆる 夢兎(と)はに」

寒さが増せばます程 その朱色の輝きをより強くする南天の生きざまに、自分の人生を重ねる私。

どんな苦境に陥ったとしても、夢をあきらめることなく追い続けていきたいものと思って_____。

～土江 和世～

チャレンジドアート美術館

山陰中央新報「鑑賞席」

陶芸家 安食ひろ先生 寄稿文 より

～障がい者の純粋な芸術作品～

最近、国内外で身体や精神に障がいのある人たちの芸術作品が、正統な評価を得て流通するようになり、ようやく日の目を見るようになってきた。彼らの作品は、他者の評価を気にすることなく、また芸術教育を受けていない分、純粋で、生の感性をそのままみせてくれる。プリミティブ(原始的、根源の)芸術に相通じているところである。そうしたことから、アールピュット(生の芸術)として、今、世界の美術界の中で、一陣の風となっている。

当地でも、島根県の助成を受けて、このような芸術活動によって、障がい者の支援を試みているのが、このチャレンジドアート美術館の活動。このたび、一畑百貨店の協力を得て、正規のギャラリーで初めての展覧会となる。

このプロジェクトに今、3人の作家が在席をしている。フジタヤスヒロ。時々襲ってくる幻覚に悩まされながらも、その幻覚とうまく付き合って、彼なりの曼荼羅(まんだら)世界

を画面いっぱいにあふれさせている。ちなみに、彼は下画(が)きはせず、いきなり画面の中央から書き始める。

坂本涼子。日本画でいう「たらし込み」を自分流に見つけ、一つの対象に徹底的に取り組む。木のシリーズに始まり、今は花束のシリーズ。会場で絵の花屋さんを…と張り切っている。

大瀧耕一。舞い散る落葉を落下傘がわりに遊ぶ天使たちとメルヘンの世界を漂わせる。

この活動に賛同し、さくらそう、タカユキの面々、山陰合同銀行が支援している、同じ境遇の人たちの、生き生きとして斬新な植物画、これもまた素晴らしい。心にやさしい展覧会である。

一畑百貨店

「チャレンジドアート美術館開催によせて」

～かあちゃんブログより～

～いよいよ、11日から一畑百貨店でチャレンジドアート美術館開催！～

11月11日から16日の間、大手百貨店一畑、5階美術サロンで かあちゃんの子どもたちがプロデビュするんです。

大胆な色彩、構図、ひらめきから瞬間に筆が動き出すフジタヤスヒロの曼荼羅画・・
天空から命の啓示を絵筆に変えて描く、大滝耕一の繊細極まりない牡丹、天使の笛・・
淡い幻想の世界へ旅立たせてくれる、坂本涼子のオキーフを連想させる絵の花束・・
この3本の矢が放たれたのです。

“そうさ僕は空を翔けてく 折れない翼を信じて

君と見たあの夢叶えるために

大空高く

青い翼で・・”

ゆめのつばさコンサートでいつも歌われるこの曲“青い翼”

このフレーズのように、ゆめを乗せて3本の矢が放たれたのです。

一体どこまで飛べるのだろうか？

期待と不安の中、放たれた矢は高く、高く大空めがけ消えていきます。

輝く霧のようにその後を追ひ、行く末を見守るたくさんの天使たち・・

そう！こうした多くのこころ優しい天使たちの支えがあったからこそ、この飛翔があったのです。

祈りを込めた眼差しを天空に馳せるかあちゃんでした・・・

～初めての個展、大空高く3本の矢は吸い込まれていきました～

11日から始まった一畑百貨店での初めての個展。

16日に最終日を迎えました。

会期中約500人の方々が会場にみえ、たくさんのいい出会いがありました。

なにより嬉しかったのは、これらのアートを福祉という観点だけでなく純粋に“芸術”として評価して下さった方が多かったことです。

新聞やテレビを見て遠く隠岐の島、浜田からも駆けつけてくれました。

ダウン症の子どもさんと訪れたご夫婦

数年前、二人の障がい児を亡くされたお母さん、

認知症に苦しみながら木版に文字を刻んだ作品を持参されたお年寄り・・・

無心な心(アート)にふれることで、幼児の思い出が残照としてよみがえります。

絵の中で時間を共に過ごすことで、ふと立ち止まる勇気を与えてくれます。

描いても刻んでも発表する機会のない多くの作品

撮っても、人目にふれることのない写真

もの言わぬ 子どもたち

こうした子どもたちに道を開きたい

自由に天空に絵を描かせてあげたい

3人の子どもたちに続いて・・・

矢は天使の胸にしっかり抱かれ、更なる大空へ

ひとり立ちにはまだまだ遠い道のり・・・

でもきっと道は開けると確信したかあちゃんでした

■12月&1月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

月 日	内 容
12月5日	□おやすみ
12月12日	□粘土で遊ぼう!! 場所：アトリエ「おちらと」 担当：安食ひろ 常賀信寛 材料費：100円準備してね
12月19日	□クリスマスリースづくり パート2 場所：アトリエ「おちらと」 担当：榎野良樹 土江和世 材料費：100円準備してね
12月26日	□X'masパーティー

	あべひろひさライブ (バンドどりーむをサポートして下さってる方) 場所：アトリエ「おちらと」 担当：常賀信寛 山口恵子 土江和世 ●100円相当のプレゼント準備してね (プレゼント交換します) みなさんをさそって来てね(友だち、大人の方)
1月9日	□ ^{うき} 宍(えと)を色紙に描こう 場所：アトリエ「おちらと」 担当：榎野良樹 常賀信寛 材料費：100円準備してね
1月16日	□のんびり初湯 場所：ゆらり 担当：常賀信寛 土江和世 準備：タオル 入場料として300円(一部学園補助) 集合：ゆらり玄関前 10時
1月23日	□粘土であ・そ・ぼ 場所：アトリエ「おちらと」 担当：安食ひろ 土江和世 材料費：100円準備してね
1月30日	□もちつき(旧暦の元旦は2月3日だっ) 場所：アトリエ「おちらと」 担当：福田稔 山口恵子 材料費：100円準備してね

◆集合時間・・・9時50分(指定時間が無い場合)

◆集合場所・・・指定場所へ直接

◆学園問合・・・NPO法人サポートセンターどりーむ

電話/FAX:0853-63-4001

Mail: sc-dream-kt@sky.plala.or.jp



文責:土江和世